

- 内容 ~ 1.はじめに 2.名高田高架橋他1橋(下部工)工事、工事再開しました。
3.橋脚基礎杭ができるまで
4.新東名の風景～石座神社遺跡調査箇所から見た新東名「名高田高架橋」
5.新城マラソンに参加しました。 6.柿下遺跡の現地見学会を行います。

1.はじめに

中日本高速道路豊川工事事務所新城東工事区の工事長、鈴木でございます。
2月に入り寒くなってきました。風邪、インフルエンザなどにかからぬよう十分ご留意ください。今回も新東名高速道路建設事業の新城市北部地区の話題を沿線地区の皆様にお届けしたいと思います。



2.名高田高架橋他1橋(下部工)工事、工事再開しました。

名高田高架橋他1橋(下部工)工事を担当するオリエンタル白石株式会社が会社更生法の申立をし、11月26日から工事中止となっていました。1月8日から工事再開しました。

11月中旬に工事着手し、すぐ工事中止となったため、工事現場周辺の皆様には「どうなっているのか?」と思われることと思います。大変ご心配おかけしました。これから安全に十分気をつけて工事をしてまいります。よろしくお願ひします。

牛倉地区:大宮川付け替え作業～新しい大宮川をつくっています。

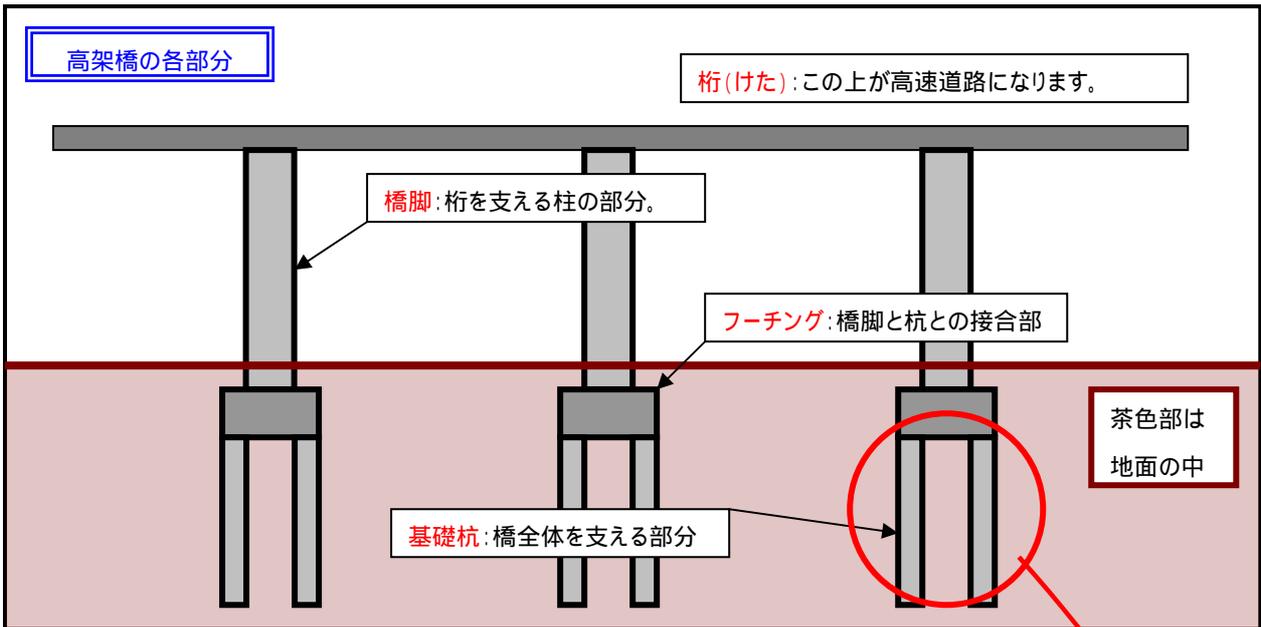
須長地区:名高田高架橋の橋脚基礎杭作業(市道須長線の東側)～基礎杭をつくっています。

(基礎杭とは? 次の項でご説明します。)

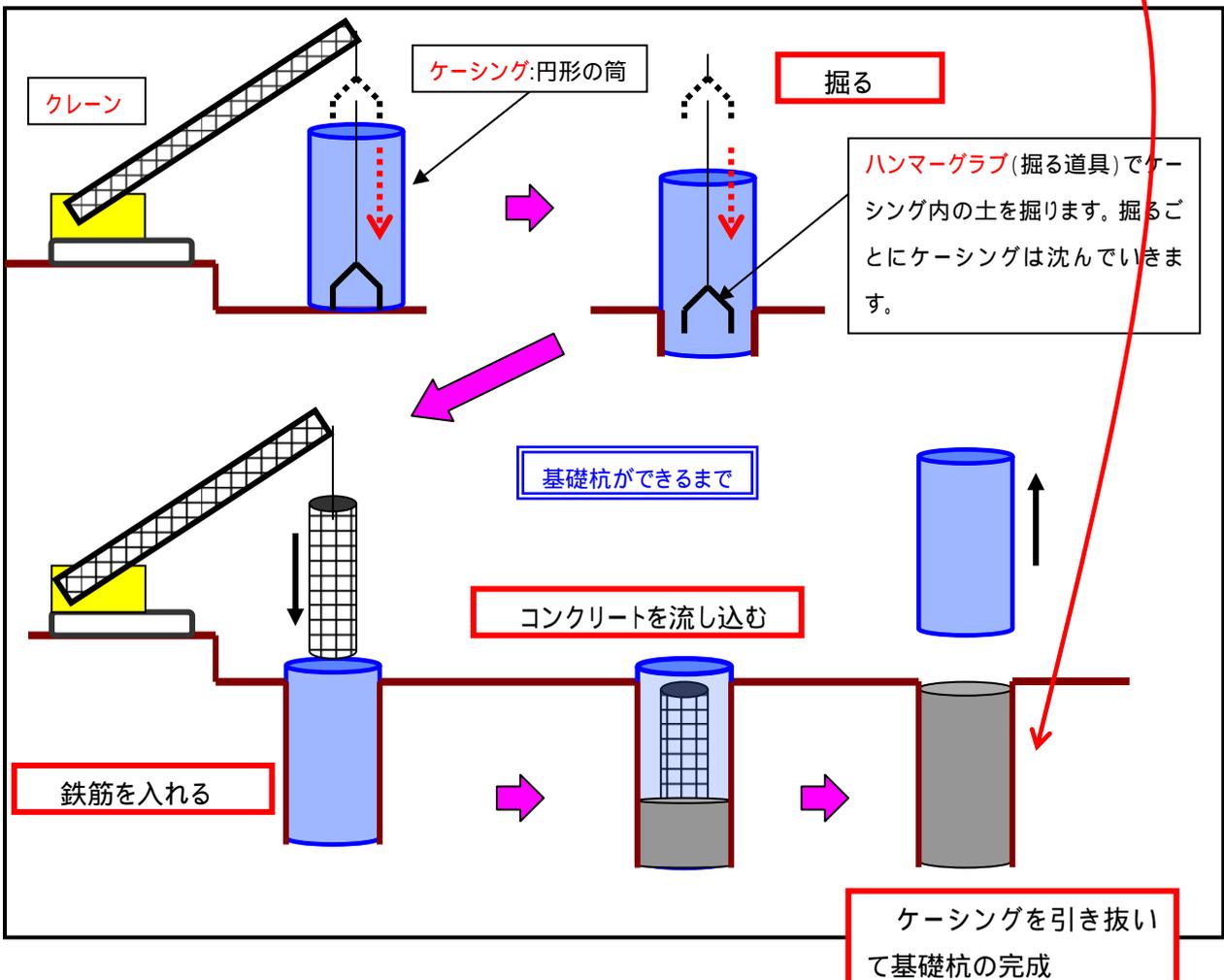


3. 橋脚基礎杭ができるまで

名高田高架橋をつくり始めました。高架橋は大きく分けると、桁・橋脚・フーチング・基礎杭の4つの部分でできています。基礎杭 フーチング 橋脚の順にこの工事で作っていきます。



基礎杭は次の順番につくります。ケーシングという円筒を使って、その円筒の中の地面をハンマーグラブという掘る道具で掘っていきます。掘りあがったら、円筒状に組み立てた鉄筋を挿入。その後、コンクリートを流し込みます。ケーシングを引き抜いて、コンクリートが固まったら、杭になります。



基礎杭をつくる作業の様子です。しばらくの間、この作業をしています。1日1本つけていくペース。
(危険ですので、絶対に工事現場内には立ち入らないでくださいね。)



4. 新東名の風景～石座神社遺跡調査箇所から見た新東名「名高田高架橋」

石座神社の裏山の東側部で石座神社遺跡の調査中です。この場所から東に向かって「名高田高架橋」が架橋されます。連吾川、市道須長線をまたぐ約500mの高架橋です。山の上から撮った写真に大体の高速道路の路面の高さを入れてみました。

結構、新東名は高い位置を通ることがわかることと思います。



5. 新城マラソンに参加しました。

1月18日に第33回新城マラソンが開催されました。浅谷の新城総合公園から矢部で折り返して総合公園に戻る10kmのコース。新東名のルートを縫うように走るコースでもあるんです。私どもの事務所のメンバーを集めて参加しました。この大会、今回は約2千名の参加があったそうです。

沿道の皆様を見ながら、風景を見ながら走り、あっという間の10kmでした。

これから、新東名の工事が進み、日々刻々この新城マラソンのコースの風景が変わっていくことと思います。次回以降のこの大会に訪れる皆様に、新東名の進捗を実感していただければいいなと思いました。



6. 柿下遺跡の現地説明会を行います。

富永の柿下遺跡の発掘調査を愛知県埋蔵文化財センターが行ってまいりました。

現地説明会を2月7日(土)午前11時から実施する予定です。

現地の遺構や出土した遺物をご覧ください。

富永の川上公会堂から現地まで徒歩にておいでいただけます。どうぞお出かけください。

今後も地元の皆様や愛好家を対象にした見学会を行ってまいります。

連絡先

愛知県埋蔵文化財センター柿下詰所

0536-24-1286

センターからの「案内ちらし」

現地説明会のお知らせ

愛知県教育・スポーツ振興財団 愛知県埋蔵文化財センター
国際文化財株式会社
中日本高速道路株式会社豊川工事事務所新城東工事区
新城市建設部高規格道路課
新城市教育委員会文化課

新城市富永地区の柿下遺跡の発掘調査で遺構・遺物が検出されております。説明会を下記により行いますので、ご近所の方々お問い合わせのうえお越し下さい。

日時 2009年2月7日(土) 午前11時 小雨決行
場所 新城市富永 柿下遺跡
駐車場 川上公民館駐車場

*会場内は地道の傾斜地です。履物にご注意ください。

連絡先 愛知県埋蔵文化財センター柿下詰所
Tel.0536-24-1286 担当者:木井・西井
国際文化財株式会社・加部・柿下遺跡発掘調査事務所
Tel.0536-24-1288 担当者:定本